

# 令和7年度 神奈川県立新城高等学校不祥事ゼロプログラム

令和7年4月  
神奈川県立新城高等学校

神奈川県立新城高等学校では、「教育委員会不祥事ゼロプログラム作成方針」に基づき、不祥事の未然防止を図るため、次のとおり「神奈川県立新城高等学校不祥事ゼロプログラム」（以下、「不祥事ゼロプログラム」という。）を定める。

## 1 実施責任者

不祥事ゼロプログラムの実施責任者は校長とし、副校長及び教頭がこれを補佐する。

## 2 課題、目標及び行動

	課題	目標	行動
1	法令遵守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む）	法令違反職員はゼロ	職員行動指針の常時掲示、携行。 ○事故防止会議【コンプライアンス】4月
		法令遵守意識を向上させ、公務外の非行はゼロ	綱紀保持通知については、朝の打合せ、常時機会を捉えて意識啓発を行う。また、法令遵守は業務以外でも交通法規等の遵守、飲酒時における留意点等について公務員としての自覚を促し、全職員で互いに注意喚起する。 ○事故防止会議【服務規律の遵守】各月 ○事故防止会議【飲酒運転等根絶・交通法遵守】12月
2	職場のハラスメントの防止	パワハラ・わいせつ・セクハラ行為を始めた各種ハラスメントゼロ	さまざまなハラスメントについて、意識と理解を深め、互いに注意喚起しあえる環境作りに取り組む。 ○事故防止会議【セクハラ・パワハラ防止】1月
3	体罰、不適切な指導の防止	生徒に対するわいせつ・セクハラ行為のゼロ	生徒に対するわいせつ・セクハラ防止のため、職員一人ひとりの意識啓発やSNSによる生徒との連絡の禁止等を徹底し、相互にチェックできる体制を整備する。 ○事故防止会議【セクハラ防止】9月
		体罰、不適切な指導はゼロ	体罰や不適切な指導の理解を深め、生徒の理解に基づく支援を行う。また部活動においては複数顧問配置を行い、なおかつ全職員で見守りや安全管理に関わっていくように意識啓発を行い、体制を整備する。 ○事故防止会議【人権の尊重・体罰の防止】7月
4	入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜、成績の誤処理・進路関係書類の誤作成をゼロ	入選マニュアル・成績処理マニュアル遵守を徹底し、規定通りのチェックを厳密に行う。データだけでなく配付書類等も必ず複数の職員で、複数回点検することを徹底する。 ○職員会議等【定期テスト実施・成績処理等に係る事故防止の徹底】：6月・12月

			○事故防止会議【入学者選抜】12月
5	個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止、暗号化フォルダ保管）	個人情報流出ゼロ	<p>新たなシステムの活用と合わせ、個人情報のデータファイルの扱いの徹底とセキュリティ対策等の徹底を図り、効率的なICTの活用により業務負担を軽減する。</p> <p>オンラインでの授業や生徒情報の扱いを厳格に行い、個人情報の扱いに十分留意する。</p> <p>○事故防止会議【個人情報の取扱及び児童・生徒への適切な連絡方法の徹底について】4月・10月</p>
		個人情報を無断で持ち帰る職員はゼロ	<p>個人情報をやむを得ず持ち帰る場合等は、個人情報校外持ち出し許可等手続や方法を徹底するほか、適切なクラウドの活用方法を促進する。</p> <p>○事故防止会議【個人情報の取扱について】7月</p>
6	業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	その人のみにしかできない業務はゼロ	<p>グループ内の業務協力体制と複数業務体制を強化・徹底し、情報の共有化により業務の効率化を行う。</p> <p>○事故防止会議【業務体制の連携・職員の意思疎通促進】5月</p> <p>○グループ会議【業務協力体制の確保】：5月実施</p> <p>入学者選抜について、全教職員によるマニュアルの確認により、業務を全教職員に周知徹底し、共通理解を図る。</p>
7	財務事務等の適正執行	私費会計基準に基づく適切な執行により、事故ゼロ	<p>支払いは、インターネットバンキングを活用して現金の扱いを減らし業務の改善を進める。迅速な支払い・納品の確認を徹底する。浜銀ファイナンス等の適切な運用を行う。保護者通知、督促通知の適正化・マニュアルの活用を進める。会計担当者会を開催し、適正な会計運用・処理を徹底する。</p> <p>○事故防止会議【私費会計研修】4月</p>

### 3 他の主な取組

- ①全職員に対する定期的な個別面談
- ②若手職員等の研修会
- ③部活動における応急手当講習会（活動グループ）
- ④その他、必要に応じて実施

### 4 検証

2、3に規定する取組及び行動計画等について、令和7年9月末に中間検証を実施し、見直し等を進め、令和8年3月中旬に実施状況を検証するとともに、各目標達成についての自己評価を行う。これをふまえて、令和8年度の不祥事ゼロプログラムを策定する。